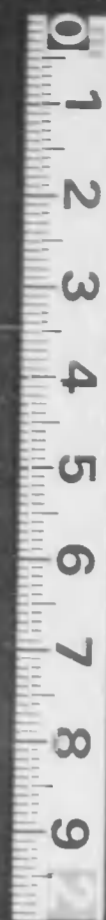


寫眞週報

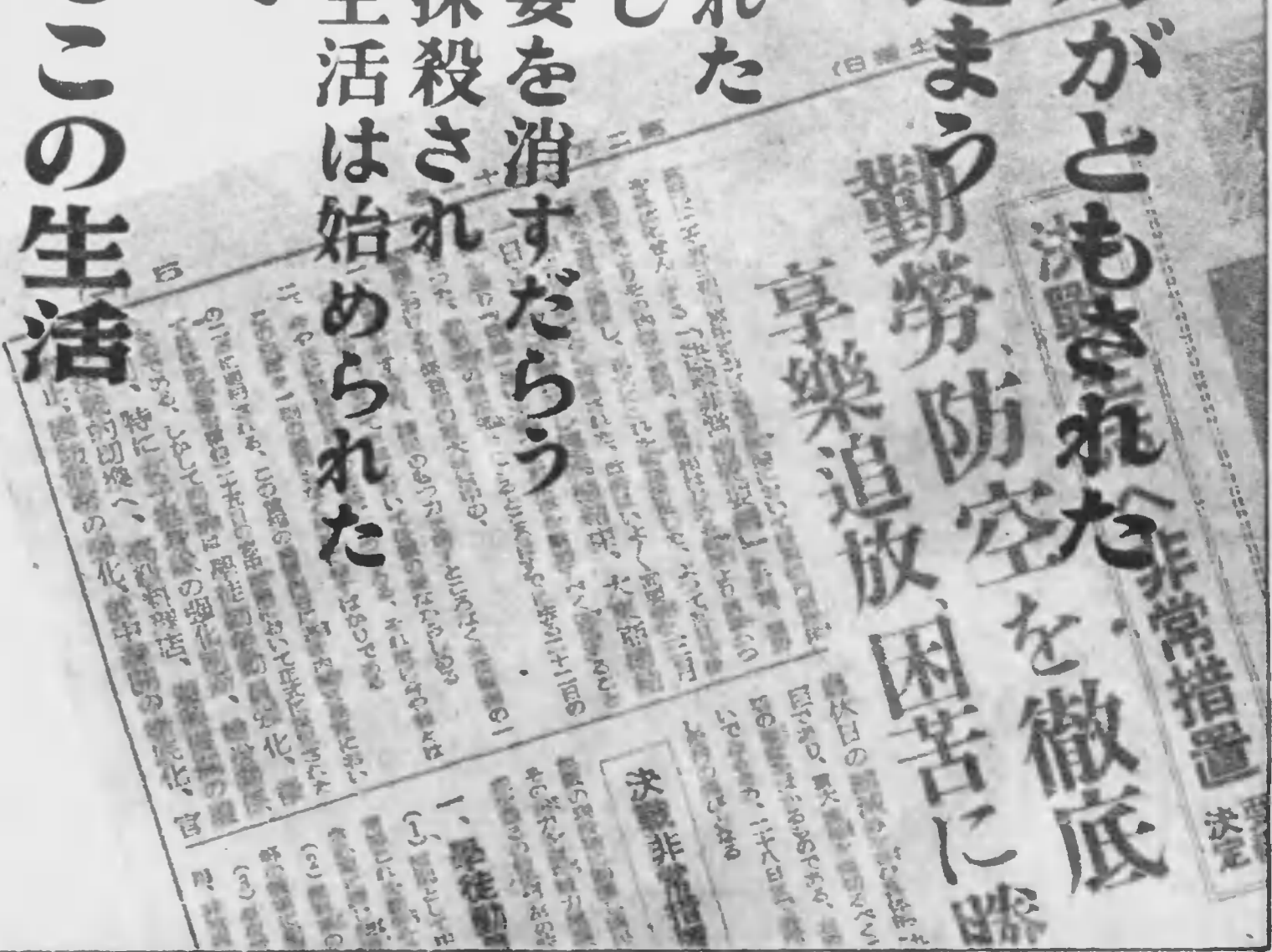
編輯局報情

三月十五日 第三十三卷 第十七号



勝利への生活に明るく灯がともされぬ
 このみちを驀らに突き進まう
 巷に享樂の紅燈は消え
 高級興行場の扉は閉ざれた
 花園はすでに農地と化し
 一切の裝飾的なものは姿を消すだらう
 官廳の曆から日曜日は抹殺され
 國を擧げて月々金々の生活は始められた

一億が同じ乏しさに耐へ
 同じ勤勞の喜びにひたるこの生活
 これにまさる明るい生活があらうか



海軍少佐 音羽正彦侯 クエゼリン島に壯烈なる戦死

クエゼリン、ルオット兩島に於いてわが守備部隊四千五百、軍屬二千は一月卅日來侵寇し來つた敵大部隊を遂撃し、寡兵よく敵に大損害を與へ二月六日最後の突撃を敢行、全員壯烈な戦死を上げたアツについでクラワ、マキンの玉碎を経て三度目の悲報である

海軍少佐 音羽正彦侯もこの戦間に於て勇戦奮闘、つひにクエゼリン島に於いて守備隊員と運命をともにされた。音羽侯爵はかくも朝香宮鳩彦王殿下の第二王子にあらせられ、過ぐる上海作戦において、つねに第一線に挺身、偉功をたてられたがこの度もまた南海の最前線にすませられ、敵をむかふるや、率先陣頭に立つて突入、つひに散華せられたのである

尊きおん身を以てかくの如き壯烈な戦死を遂げられたことは、我らのすゝむべき道を身をお示しになられたものといふべく、戦局はますます激しさを加へ、祖國の勝利はかつてわれらの双肩にあるとき、われらはその壯烈な御最期を心から悼むとともに、この率先理範を深く胸に銘じ、一死報國樹敵撃滅に邁進することを固く誓ふものである

北の基地では零下何十度の中で寒風も停んだ



前線勇士は

なん生生活して

大敵アメリカと戦ふんぞ、
どんな苦しい生活にも堪へる
いて。宣戦の日、日本人と
いふ日本人は、みんなさう決
心した。
ところが今日までの我々の
生活はどうだったらう。あの
日の決意で頑張つてゐたら、
量でも敵には負けなかつたは
ずだ。我々の生産への努力が
足りなかつたばかりに、何干
のわが将兵に幾度か無念玉碎
の熱涙を看ませ、獅子づいた

敵ともに、圖に乗つたわめき
方をさせてゐるのだ、といは
れても、何の返す言葉があら
う。
しかし、過去はいふまい。
決戦非常措置の實施された今
即決心を入れかへ、生活を切
りかへ、米、米鬼をやつづ
けるための戦争生産にすべて
を捧げよう。祖先にも子孫
にも中華の立つやうに。
苦しいと思ふ前に前線での勇
士の生活はまだ、勿體な
さうなものではなからうか

これが勇士たちの住居だ。最も電燈もこゝにはない



この奥に敵弾を避けるまつ暗な穴居がある。穴を出れば既に命がけだ



草の叢の中でおかづとは名のみのご飯、だが勇士は舌鼓を打つてゐる



敵機襲来の合間々々をみて、いそいで洗滌



撮影 同盟通信社及び従平、瀨口海軍報道班員4
激戦敵の給與にくらべ、自給自足の細作も戦ひのひまなくに



川とはいへないスコールの水溜りで飯食炊さん



石に腰かけ報告を書く机はこの機銃箱だ





なすも冠の温泉行、いま空襲が
つたれはたはとうすゝ気が

生活は即刻切替だ



暇さへあれば隣組ごぞつて防空訓練だ
いざ空襲となれば訓練の気持でゆくのだ



特級映画館も
高級劇場も
高級料理店も
待合も

高級酒場も

小劇場 精進一年へ享樂は断然追放だ



玉砂利を運搬しよう、と時給が低減してある前々この茶屋は何のたのしみでもな



駅前からつめかける人たちは何か大きなことを成してやらないか。こゝは戦時中



女達はすでに女子挺身隊員として兵器工場で働き目をあやむに戦つてゐる



買取りにしろ／＼する服を穿つために内戦をつづける婦人もこの通りあるのだ



『月』は敵、輸送の敵、低物作製軍の敵、勝利をばはむ利敵行爲だ



見舞へ上京して、帝都の精進一色にぶつくりたる迂問者はないか

生活け即刻切替だ

無事などといふ言葉は皮上して、働いて働きぬけど、暮ら日まで



『出』どころか、生活をギリ／＼一杯に切りつめて貯金する時だ





終りの日家でこつそのり作物を貯る用材がこそ、園を直り美切行爲た

生活は即刻切替た



日中働きた工員がこんなせまい乱屋で疲れをいやしてゐること考へよう



粒々辛苦して種入れた米を野菜を刺さず供出する農士の心は前線將兵と一つだ

日満一體 穀倉満洲の全面的協力

満洲國 建國二十周年



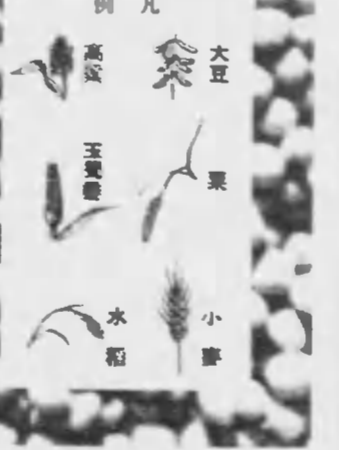
興亞使節として來朝された大東亞總務長官大佐は、三月一日、日比谷會館で開かれた滿洲帝國建國紀念講演會に臨み、滿洲の農業生産の力強い発展を日本國民の前途に望みこたへることを述べた。

滿洲國が生れてから今年の三月一日、建國十二年になりました。十二年といへば大して水い月日ではなく、むしろ國家の歴史としては大變にみじかいのですが、この短い間になされたまじまじしい業績は、世界歴史のうへにもかつてない輝かしいものでした。そして今や、わが國と一緒に、東亞の支へととなつてこの戦争を勝ちぬくために、精神的にも、物質的にも、國を挙げて協力してゐます。この嬉しい

委はまさに世界の驚異といつてよく、戦ふわらし連の後継としての力強い協力ぶりには深く感謝しなければならぬと云つてゐます。さて、この建國十二年間の輝かしい生長のあとをたどつてみますと、わが國との共同防衛によつて北滿鐵道に鐵甲の堅陣を築いたことや、民族の融和、國民生活の安定、國家觀念にめざましい國民の養成等々、心身ともに東亞の國民としての自覺に燃える國民を育てて

大にこの頼もしい滿洲の農業事情を述べてみます。まず農地をみますと、一千四百三十六万町歩の農地と一千六百八十万町歩の可耕未墾地があり、四千三百万の人口のうち七分四分が農民といふのですから、まさに農業國滿洲といふことができます。農産物の主なものは、世界産額の七割を産する大豆をはじめ、滿人の主食となる高粱、包米といはれる玉蜀黍、粟、小麦、水稻、陸稻、雜穀等の穀類ですが、これらのうち主食としてわが國に輸出されるものは、すでに昨年からは食糧としてわれわれの味覺にも親しまれてゐる大豆、高粱、玉蜀黍等ですが、これらについてみますと、大豆は全作付面積の二割四分、高粱は二割強、玉蜀黍は九分、小麦六分、水稻六分となつてゐて、計六割七分となつてゐます。その發展ぶりを見ますと、大豆は康徳元年の三百二十七万三千町歩から同六年には四百六十六万三千町歩と飛躍し、高粱は百七十七万六千町歩から三百八十九万九千町歩へ、玉蜀黍は百二十万二千町歩から百九十七万七千町歩へ、小麦は八十二万六千町歩から百二十九万町歩、水稻は二十万三千町歩から三十八万五千町歩へと、いづれも素晴らしい擴張をなしとせ、これに應じて生産高も大豆は康徳元年の三百五十九万九千トンから同六年には四百五十四万九千トンと増え、高粱は三百五十八万八千トンから四百五十八万七千トンへ、玉蜀黍は百六十万九千トンから二百四十六万八千トンへ、小麦は八十六万二千トンから九十三万八千トンへ、水稻は三十一万五千トンか

ら八十万一千トンへと飛躍し、水稻などは十割以上といふべきまじしい増産を示してゐますし、小麦もこれまで二毛作絶對不可能といはれた困難を克服して、今年からは一千三百八十町歩の耕地に秋播の小麦を播きつけ、さらに増産への新しい進軍が開始されました。これらの數字でもわかるやうに、一年一年と目みえて生産の飛躍を擧げてきた増産ぶりは、昨年になつてつひに未曾有の大豊作ぶりを示し、日滿食糧自給の前途を明るくしました。この時局が要請する食糧の飛躍的増産計畫を完遂しようと、今年度は更に次のやうな萬全の對策が樹てられてゐます。それによりますと、今年度の増産目標は、開拓團は十割、滿農は一割の増産が計畫され、適期播種、完全除草、土質の倍加を徹底的に實踐して耕作に努力する一方、集荷にも早期割當を奨励し、追加割當をやめ、供出成績によつて獎勵金を出したり、綿糸布を特配して割當供出を完納させることにつとめると共に、割當完納の者には報恩出荷運動をおこして日本への寄與を増加しようとしてゐるのです。これによつてみても今年度の生産は相當に多くなると思はれますが、これらが直接わが國に送られ、力強い戦力として食糧戦にも必勝を期せられることを思へば、建國の恩義に感じて、わが食糧確保に努力する全滿農民の熱意に對して、心からの感謝を送らうではありませんか。授くも滿洲國皇帝陛下には、『朕は常に實戦に参加してゐる覺悟である。國民もこの覺悟をもつて増産に



邁進して神恩に應へ奉るとともに親邦に寄與しなければならぬ」と仰せ出され「帝室内の芝生も草花も不要である」との思召しから、大豆、高粱等を植ゑることとなり、すでに春耕も終り、百花好を競つた原野も見事な畑と變り、播種を待つばかりになつてゐるといふことです。この戦時生活の御垂範に應へ奉らうとはげむ滿洲國民の姿、ここにこそ建國十二年を迎へた滿洲國が東亞共榮圈建設の先驅者としての光榮を十二分に擔ふ輝かしい姿があるのです。建國十二年を迎へてこの光榮を大東亞の諸國家、諸民族に示すことを得た滿洲國を、われらも心から祝福しようではありませんか。

春耕、春播、中耕と水い勞苦はむくはれて、大豆の粒は珠玉のやうに輝く、農民の笑顔とともに



大豆の全産の満洲

↑ 渠渠出荷も かうして集められた大豆はやがて農産公社の手を経て日本へ、われらの貴重な戦力となるのだ

麻袋にはちぎれるほど大豆をつめこんで

1 満洲農産物の大宗は大豆だ、世界産額の六割がこの土の戦士の努力に資する

2 開拓地をはじめ全滿各地に水稲も陸稻も黄金の波をうつやうになつた

3 高粱の收穫もおへた、食糧基地を守る農民連はその使命をはたしたよろこびにいそいそと大地を踏んで

4 満洲の曠野にも小麥の芽が青々と柄模様を描く。しかも明年の増産をめざして蒐荷戦が終るや秋播小麥がまきつけられ、早くも中打の賑が打振られてゐる

大豆はどん／＼と蒐荷される、農民の努力を乗せて大車は公交場へ溢れる



増産の手帖



自給肥料の増産は今が時期

今年はずいとも例年に増して、米、麦、甘藷、馬鈴薯及び雑穀などの食糧農産物を増産しなければなりません。それにはこんど配給になつた肥料の量は、今迄以上たくさん自給肥料を用意しなければ、増産以上の増産は困難です。田畑の仕事のいそがしくならない今の内に、国民学校や中等学校の生徒、農家以外の方々の応援も受け、稲藁は勿論、できるだけたくさん落葉、枯草等を採集して堆肥を増産するとともに、湖、沼、池、溝等の泥土を揚げ、肥料として利用したり、桑葉、粗糞、豆殻等を肥料とし、焼土法を實行して土壌の中の肥料分を有効化する等あらゆる努力をつくして自給肥料の増産に

馬鈴薯の植付け方

馬鈴薯は三月初頃から植付に入る地方が多いですが、馬鈴薯の増産は、一畝、二畝、三、手入、といはれておるとほり、優良な種薯を植付けることが最も大切なことです。北海道などでできたよい種薯と平地で出来た種薯をくらべてみると収量は、七五五と一八九といふやうに大きな差があり、その上わるい種薯には病害が多くつきます。農業者ではこのやうに収量の多い種薯を非常に苦心して配給してあるので、三〇程度のものは二割にして、ひろい面積によい種薯を植付けるやうにしなければなりません。なほ種薯は大形の方がよろしい。

手抜きなく稲作の準備を

もはや春です。また稲作の準備を完了せねばならぬ時がまわりました。種親や、種親を消毒する薬剤の準備ができましたか？

それ／＼の土地に適した品種、よい種親を選ぶことの大切なことはみなさん御承知の通りです。あれこれと迷はず、かならず農業会の採種圃か、部課の共同採種圃で生産した種親をおもちませう。また、種親を消毒する薬剤も農業会へたのんではや目に入手しておいて下さい。

◎百代の準備が整いましたか？
よい苗を育てるには、どうしても百代の面積をひろくし、かつ、選播することが肝要です。あなたは百代を何坪用意されましたか。少くとも本田一反歩當り十二、三坪はほしいと思ひます。それから東北地方のやうな寒い地方では、百代の防風障の材料も揃えて置くことが肝要です。雪の多い地方では、百代に黒い土か、灰等を撒いて、一日でも早く雪を消すことが必要です。

◎野外の稲藁を草急に処分いたしませんか？
稲藁には、稻熱病等の病菌が附着してゐます。稲藁も入つてゐます。それをそのまま野外に放つておくと病虫の発生之源となります。早く焼内に取り入れるなり、堆肥にのみ込むなど、それぞれ処分することが必要です。一人でもおこたる人があると、近所の迷惑になりますから、期限をきだめて一せいに野外の稲藁を処分して下さい。



★表紙
女子工員の手でこの美しい原野が立派にできあがりました。ほんの少し前までは、女の手で飛行機が飛べるなどとは誰も考へなかつたことです。ところが今では戦時中でも原野でも小さな部品を製造からその組立に至るまで女の手だけでやんとやつてのけておます。そのでき上りも男子の熟練工に、決して負けてはなりません。日本女性が造つた飛行機に日本男子が乗つて敵を撃滅する——日本の若い女性たちは進んで飛行機生産工場へ進身させよう。
川崎航空機工場〇〇工場

今日の旅行と



農場と工場

「おたしなんかどこへ行つたつて、お身はいいですよ。長男は今度また帰るのだから、大男は来年農機検査です、えー」
「私だって、農機検査だけじゃなく、二八ともしまじやうな農機士ですからねえ、へー」



買出し郵便取



教授出陣

「ハイお前さん、今日はどちらへ御出陣？」
「農機が工場へ出陣する時や、わしも農機検査に行きますよ」

勤勞の味

「お、こゝに出入りした時は暖にあつた味か、かづつて出入りしてみるとこの味は格別やわい」



「お、お前さん、成功したわけやなし、今さら百歩しますから、村へ歸れたら、お前さん、なにをいふて、頑張ってきた心根、お前さん、お前さん」





五十銀行

雄武野間入 取頭

指人形
決戦と戦後

写真週報

昭和十九年三月十五日 印刷局

印刷局
東京市豊島区東池袋一丁目
電話 〇三三三

定額
（送料別）
外埠に送る場合は
特設の封筒に
共一紙十九枚
其の封筒に
食より送る場合は
受けます

中込所
全国各地官報
通報普及部
書店・購買店
新聞販賣店

本誌の発行は、戦中、戦後を通じて、戦時体制下の日本に必要不可欠なものである。本誌の発行は、戦時体制下の日本に必要不可欠なものである。本誌の発行は、戦時体制下の日本に必要不可欠なものである。

本誌を回覧に
本誌を、関係機関等
で回覧する場合は、出
来るだけ有効に利用
して下さい。
動員期間にも
またお読みになった
ら本誌を関係機関に
送りませう。送料は
内地と同様で、封筒は
もひは開封にして第
二部と明記すれば
一部一紙です。

印刷局印刷發行

（何れも）A4の大きさで印刷